株式会社栄組

生産性向上　サービス

岩手県遠野市

独自開発技術を強みとした補修補強事業
最新技術の導入による継続的な生産性向上

1955年創業の総合建設会社。特許技術を核としたコンクリート補修技術は国内のコンクリート補修工事に多数採用されているほか、同業者に技術提供を行っている。またひび割れ注入技術である圧力調整注入工法(SAPIS)はコンクリート補修補強事業における海外からの技術的評価も高く、2017年12月からはJICA(国際協力機構)の中小企業海外展開支援事業に採択され、国内外のインフラ長寿命化に貢献する活動を行っている。

●所在地	岩手県遠野市上郷町板沢9-19-1
●電話／FAX	0198-65-3032／0198-65-3324
●URL	https://www.sakaegumi.jp
●代表者	代表取締役　佐々木　栄洋

●設立	1955年
●資本金	5,000万円
●従業員数	34名

独自補修施工技術による企業価値向上に向けた取組

同社のひび割れ注入技術、圧力調整注入工法(SAPIS)、及びコンクリート構造物の長寿命化を実現する、インフラ補修施工マネジメントシステム(SIMMS)による施工実績は300工事を超え、他工法の導入と併せて「補修補強の栄組」ブランドとして価値が高まっている。ひび割れ注入技術は継続的に改良を加え高度化を図っており、国内特許取得のみならず、アメリカで特許取得、ブラジル、インドネシアでは特許申請している。

圧力調整注入工法(SAPIS)で施工している様子

多能工化と最新設備の導入による生産性向上の推進

多能工化による個々の社員の能力向上を図りつつ、多様化する顧客ニーズへの対応、及び業務内容の多角化を進めている。また同業他社との事業連携、産学官連携による共同研究、他分野企業との共同開発等にも積極的に取組んでいる。ドローンを使った遠隔測量機、3Dレーザースキャナー、3次元設計が可能となるBIM/CIMを導入し、継続的な生産性向上を進めている。

ドローンで遠隔測量している様子

建設業者としての完全週休2日制導入と地域未来牽引企業の選出

2017年から岩手県内の建設業者では初となる全社員完全週休2日制を導入している。作業効率を上げるための作業工程の見直しや技術力の向上等を部門ごとに取組み、建設業版QCサークルを実施して改善活動を進めることで労働時間の短縮を実現し、同制度を導入することができた。また革新的な事業を継続させることにより生産性を高め、経営を安定させた企業活動も評価され、経済産業省の地域未来牽引企業に選出されている。こうした取組により青年層の中途採用や新卒者の採用も増えている。

QCサークルに取組む従業員